



2026年5月13日

各位

会社名 テイカ株式会社
代表者名 代表取締役 社長執行役員 出井 俊治
(コード番号 4027 東証プライム市場)
問合せ先 取締役 上席執行役員 中村 弘
(TEL 06-6943-6401)

特別損失の計上及び通期連結業績予想と実績との差異に関するお知らせ

当社は、2026年3月期におきまして、特別損失(減損損失)を計上するとともに、2026年2月6日に公表の2026年3月期の通期連結業績予想と、本日公表の2026年3月期通期実績において、下記のとおり差異が生じたので、お知らせいたします。

記

1. 特別損失(減損損失)の計上

当社の機能性材料事業のうち汎用用途の酸化チタンにおいて、中国をはじめとする海外競合先の旺盛な販売攻勢や国内市場の需要減といった急速な「事業環境の悪化」を理由に減損の兆候が認められました。

汎用用途の酸化チタンにおいて、収益予測の見直しを行ったうえで、固定資産に係る回収可能性を慎重に検討した結果、「固定資産の減損に係る会計基準」等に基づき減損処理を行ない、2026年3月期において、減損損失として3,170百万円を特別損失に計上いたしました。

2. 2026年3月期 通期連結業績予想と実績との差異(2025年4月1日~2026年3月31日)

	売上高 (百万円)	営業利益 (百万円)	経常利益 (百万円)	親会社株主に帰属 する当期純利益 (百万円)	1株あたり 当期純利益 (円)
前回発表予想(A)	58,000	1,700	2,100	1,300	56.09
今回発表実績値(B)	57,373	2,176	2,672	△878	△38.47
増減額(B-A)	△627	476	572	△2,178	△94.56
増減率(%)	△1.08	28.00	27.24	—	—
(ご参考)前期実績 (2025年3月期)	55,737	3,525	3,747	2,422	105.46

3. 差異の理由

上述の特別損失を計上したことにより、親会社株主に帰属する当期純利益について、2026年2月6日に公表の2026年3月期の通期連結業績予想から差異が生じました。

以上